



[食育ピクトグラム]

食育ピクトグラムは、食育の取り組みを子どもから大人まで
誰にでもわかりやすく発信するため、表現を単純化した絵文字であるピクトグラムを作成し、
多くの人に使用していただくことを目的として制作。

12のテーマを絵文字に



共食

家族や仲間と、
会話を楽しみながら
食べる食事は、心も体も
元気にします。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(2) (3)



朝食欠食の改善

朝食の摂取は、
健康的な生活習慣に
つながります。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(4) (5)



栄養バランスの 良い食事

主食・主菜・副菜の
組み合わせた食事で、
バランスの良い
食生活になります。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(9) (10) (11) (12) (13)



生活習慣病の予防

適正体重の
維持や減塩に努めて、
生活習慣病を
予防します。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(14)



歯や口腔の健康

よくかんで
食べることで
歯の発達・維持、
食べ物による窒息を
防ぎます。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(15)



食の安全

食品の安全性等についての
基礎的な知識をもち、
自ら判断し行動する力を
養います。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(23)



災害への備え

いつ起こるかも知れない
災害を意識し、非常時のための
食料品を備蓄して
おきましょう。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(18) (19) (20)



環境への配慮 (調和)

SDGsの目標である
持続可能な社会を達成するため、
環境に配慮した
農林水産物・食品を購入したり、
食品ロスの
削減を進めたりします。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(18) (19) (20)



地産地消等の推進

地域でとれた
農林水産物や被災地食品等を
消費することは、
食を支える農林水産業や
地域経済の活性化、環境負荷
の低減につながります。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(6) (7) (8) (18) (19)



農林漁業体験

農林漁業を体験して、
食や農林水産業への
理解を深めます。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(17)



日本の食文化 の継承

地域の郷土料理や
伝統料理等の食文化を
大切にして、次の世代への
継承を図ります。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(21) (22)



食育の推進

生涯にわたって
心も身体も健康で、
質の高い生活を送るために
「食」について考え、
食育の取組を応援します。

第4次具体的な目標 (P17参照)

(1) (16) (24)

詳しくは食育ピクトグラムのご案内【農林水産省】<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/pictgram/index.html>

「第4次食育推進基本計画」目標

新型コロナのパンデミックで、生命や生活のみならず、行動・意識・価値観をも一変させました。

農林水産業や食品産業にも大きな影響を与え、
世界中が大打撃を受ける中、家庭での食育の重要性が高まりました。

目標	具体的な目標値	現状値 (R2 年度)	目標値 (R7 年度)
1 食育に関心を持っている国民を増やす	① 食育に関心を持っている国民の割合	83.2%	90% 以上
2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	② 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週 9.6 回	週 11 回以上
3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす	③ 地域等で共食したいと思う人が共食する割合	70.7%	75% 以上
4 朝食を欠食する国民を減らす	④ 朝食を欠食する子供の割合	4.6% (R 元年度)	0%
	⑤ 朝食を欠食する若い世代の割合	21.5%	15% 以下
5 学校給食における地場産物を活用した取組等を増やす	⑥ 栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	月 9.1 回 (R 元年度)	月 12 回以上
	⑦ 学校給食における地場産物を使用する割合 (金額ベース) を現状値 (令和元年度) から維持・向上した都道府県の割合 (注)	—	90% 以上
	⑧ 学校給食における国産食材を使用する割合 (金額ベース) を現状値 (令和元年度) から維持・向上した都道府県の割合 (注)	—	90% 以上
	⑨ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	36.4%	50% 以上
	⑩ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	27.4%	40% 以上
6 栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす	⑪ 1日あたりの食塩摂取量の平均値	10.1g (R 元年度)	8g 以下
	⑫ 1日あたりの野菜摂取量の平均値	280.5g (R 元年度)	350g 以上
	⑬ 1日あたりの果物摂取量 100g 未満の者の割合	61.6% (R 元年度)	30% 以下
7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす	⑭ 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	64.3%	75% 以上
8 ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす	⑮ ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	47.3%	55% 以上
9 食育の推進に関わるボランティア団体の数を増やす	⑯ 食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	36.2 万人 (R 元年度)	37 万人以上
10 農林漁業体験を経験した国民を増やす	⑰ 農林漁業体験を経験した国民 (世帯) の割合	65.7%	70% 以上
11 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす	⑱ 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	73.5%	80% 以上
12 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす	⑲ 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	67.1%	75% 以上
13 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす	⑳ 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	76.5% (R 元年度)	80% 以上
14 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす	㉑ 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	50.4%	55% 以上
	㉒ 郷土料理や伝統料理を月 1 回以上食べている国民の割合	44.6%	50% 以上
15 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民を増やす	㉓ 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	75.2%	80% 以上
16 推進計画を作成・実施している市町村を増やす	㉔ 推進計画を作成・実施している市町村の割合	87.5% (R 元年度)	100%

(注) 学校給食における使用食材の割合 (金額ベース、令和元年度) の全国平均は、地場産物 52.7%、国産食材 87% となっている。